森林環境譲与税に関する決算状況

(ⅰ)団体コード	(ⅱ)都道府県名	(ⅲ)市町村名	(ⅳ)事業区分	(ⅴ)事業名	(ⅵ)事業総額（千円）			(ⅶ)当年度基金への積立額（千円）	(ⅷ)事業内容	(ⅸ)針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「○」を選択	(ⅹ)実績																			(タ)その他	(ⅺ)税導入の効果
											森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				
											(ア)意向調査実施面積(ha)	間伐等実施面積			路網整備			(ク)その他	(ケ)事業体等への助成		(コ)研修、講習、求人イベント等		(サ)その他	(シ)研修や普及啓発イベント等		(ス)その他	(セ)公共施設等の木材利用		(ソ)その他		
					(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）					(イ)間伐(ha)	(ウ)除伐(ha)	(エ)その他（作業種、実績値を記載）	(オ)林道・林業専用道の開設延長(m)	(カ)森林作業道の開設延長(m)	(キ)その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)			
013340	北海道	木古内町	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	意向調査事業	336	336			森林経営管理法に基づく意向調査の実施を直営で実施。		82																				【ワンフレーズ】 税の活用により、 ・意向調査では、1名の方が森林施業(間伐1.6ha)実施につながった。 ・森林環境譲与税事業では、新たに間伐48.15ha、下刈12.97haの実施につながった。 【詳細】 我が町は、一人あたりの森林面積が小さく、不在地主等が多いという課題があり、戦後の造林地が伐期を迎える中、森林の持つ多面的機能の維持・保全のため、継続的に森林施業を実施する必要があることから、「森林整備の水準に関する目標」を設定し、この目標の達成に向け、本税を「木古内町私有林等整備事業」や、森林整備対策事業等に活用し、森林整備を推進することとして取り組んでいる。 さらには、一般民有林のうち約８割を占める「道南スギ」のブランド化のため、森林認証の取得や、普及啓発、木材活用など、森林整備と両輪で取り組んでいる。
013340	北海道	木古内町	③ 私有林整備	木古内町私有林等整備事業	1,099	1,099			私有林における間伐等の森林施業実施者へ補助。			3.32																			
013340	北海道	木古内町	③ 私有林整備	森林整備対策事業	795	222	573		私有林における下刈り・間伐に対する上乗せ補助。			44.83		下刈り：12.97ha																	
013340	北海道	木古内町	⑬ 木造公共建築物の整備等	ふるさとの森公園木柵補修工事	3,696	3,696			地域材の活用及びPRを兼ねて、老朽化が進んでいる木柵の整備補修。																			1.69㎡	木柵：44.8m	
013340	北海道	木古内町	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	森林認証協議会負担金	189	189			取得した森林認証を全国へPRし、道南スギの普及啓発を図る。																					
013340	北海道	木古内町	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	薬師山・萩山遊歩道整備事業	3,333	3,333			木育活動や町民の健康増進施設として森林の有する公益的機能に関する普及啓発を図るため、老朽化が進んでいる薬師山・萩山の遊歩道の整備。																	年間利用者2,370人				遊歩道：70段	